

NECの映像ソリューション導入事例

NEC Future Creation Hub

NECの様々な映像機器が、体感と対話で新たなイノベーションを生む
共創空間を演出

NEC Future Creation Hubとは？

お客様と共に未来を描き、社会価値を創造するためのハブ

テクノロジーとビジネスの融合を体感いただき、対話を重ねて、お客様と共に未来を描く場所として、2019年2月にNEC Future Creation Hubがオープンしました。

NEC Future Creation Hubを創設した背景には、2つのテーマがあります。1つは、社会課題を解決していくパートナーとして、NECを認めていただくことで、新規事業を拡大するという取り組みです。それには、「NECが変わった」ことをアピールし、お客様にとって価値のある技術や



NEC Future Creation Hub
センター長
野口 圭

ソリューションが提供できることを、しっかりと伝える必要がありました。

2つめは、お客様との共創を進めるスペースが必要だったことです。NECは、これまでもプロダクトアウト型のショールームや、ソリューションセリング型のNECイノベーションワールドなどを設置してきました。しかし、1企業だけで製品開発を行う時代は終わり、ソリューションでお客様の課題を解決するのみ、という時代も変わりつつあります。

お客様がどのような社会課題に向き合うのか、その先にどのような未来を創りたいのかという、より広範な視野や思想が求められる時代になりました。新たな社会価値を創造するには、多様な社会の課題と向き合わなければならず、NEC 1社だけでは、また、顧客志向といった考え方



だけでは実現することができません。

「たとえば、自治体様とスマートシティを創ろうとすれば1:nのビジネスになります。自治体様だけでも、NECだけでも実現できず、複数の企業が参画し初めて未来像を描けます。NEC Future Creation Hubは、社会価値を共創し未来を創出するためのハブにしたいと考えています」と、センター長の野口圭はその目的を語ります。

NEC Future Creation Hubを支える映像技術

構想の具現化は、妥協しない映像のプロとの連携で実現

お客様に体感していただきたいのは、どのような未来像を描けるかというNECの“仮説”でした。しかし、仮説を言葉で伝えるのは困難で、静かなコンテンツでもうまく伝わらず、通常のディスプレイを活用した動画表現にも限界がありました。NECの仮説をご理解いただくためには、お客様の感性に直接響くような体験と、それによってもたらされる感動が不可欠だと考えました。そこで、多くの方々が人生でいちばん感動した場所の例を想定すると、シアターだったことに気づきました。「映像や音響がもたらす効果というのは、人間のマインドを変える大きな力を持っていると思い

ます。そこで、お客様が持つNECのイメージを変えていただくために、映像と音を最大限に活用した顧客体験にこだわりました。

お客様のマインドが変われば、ビジネスの可能性が大きく広がると考え、NEC Future Creation Hubでは多種多様な映像による演出の構想を練ります。しかし、映像演出を最大限に生かすためにどのようなディスプレイやプロジェクターが必要なのかがわからず、社内プラットフォームソリューション事業部に相談しました。そして、その空間に適した映像機器を提案してもらいながら、お客様に感動していただけるコンテンツを

作り込んでいきました。

「NECディスプレイソリューションズやプラットフォームソリューション事業部をはじめ、社内外のプロフェッショナルの妥協しない姿勢は、とても頼りになりました」。

NEC Future Creation Hubでは、これからも社内の技術スタッフと密に連携しながら、映像による新しい表現に挑戦し続ける予定です。また、NEC Future Creation Hubのような施設を検討しているお客様には、蓄積した知見をもとにNECにてコンサルテーションを展開したいと考えています。

NEC Future Creation Hubの成果と展望

「NECをパートナーにしたい」と、お客様に思っていたくために

NEC Future Creation Hub のオープン後、お客様の感想の9割以上が「NECは変わったね」というものでした。NEC Future Creation Hub が目指したのは、先端技術やソリューションをアピールすることではなく、お客様の感情にも

訴えかけ、「NECをパートナーにしたいな」と思っていたことです。純粋に感動したと言われる方も多く、これは映像によるダイナミックな演出の成果だと考えています。「私たちは、お客様がビックリするようなご提案

や、思いがけない発想を生み出すつもりです。NECの変化を実感していただき、これまでの枠を超えたパートナーとしてお声がけいただければと思っています」と、野口は締めくくりました。

映像の見どころ

NECの技術革新をたどる
「Innovation Gallery」



「テーマパークに来たように感動した」という感想が多いのがInnovation Gallery。プロジェクターによりコンテンツが常に変化し、壁面に写し出された映像が動き続ける。日本の技術史にとっても貴重な資料を数多く活用し、今までにない表現でお客様にお見せしている。

L型ディスプレイで圧倒的かつリアルな体感ができる
「Social Foundation」



NECの強みであるICTやプラットフォームなどをスケール感をもって体感的に理解できる新しい試みを行ったのが、Social Foundation。人工衛星など地球規模の事業を、壁面と床面の大型LEDのL型ディスプレイを使って演出することで、自分がそこに立っているような臨場感が得られる。

様々な仮説から新たな発想を生む270度映像シアター
「Social innovation」



6台のプロジェクターが映す270度の映像で、没入感と高揚感を生むシアター。NECが目指す未来、お客様とどのようにコミュニケーションしたいのかを表現している。「これが未来の答え」ではなく、あくまでもNECの仮説としてご覧いただき、そこから新しい発想やコミュニケーションが生まれる。

体感をつなぐ9面マルチディスプレイの
「Collaboration Zone」



Collaboration Zoneは、テレビ会議システムやデモンストレーションなどを活用し、共創に向かって対話を始める重要なゾーン。ツアーの体験や感動が途切れないよう、9面マルチディスプレイ×2で迫力ある映像を映しながらラップアップが可能。会議室とは異なりテーブルやイスもラフな配置なので、リラックスされたお客様とのお話が尽きないケースも始めている。

お問い合わせは、下記へ

NEC パートナーズプラットフォーム事業部

〒211-8666 神奈川県川崎市中原区下沼部1753番地（ノースタワー）

URL: https://jpn.nec.com/d_signage/cases/index.html

●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出（非居住者への役員提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ
を使用しています。